

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています。

- 1 全酪新報 7月1日号 全国酪農協会
第37回繁殖改善で経営向上「牛群検定活用しよう」渡邊 徹 家畜改良アドバイザー
表情や表現で分かる栄養状態 観察で日々変化する状況把握
「本連載を執筆していた当団渡邊徹家畜改良アドバイザーは8月8日にご逝去されましたことをお知らせします。本回が最終回となります」
- 2 デーリイマン 8月号 デーリイマン社
牛群検定の読み方(その24)
飼養管理の課題を確認出来る赤ペンコメントー乳量編
- 3 LIAJニュース7月号 (一社)家畜改良事業団
新しい牛群検定成績表について(その90)
赤ペンコメント乳量編①
牛群検定ビッグデータ(その34)
品種における脂肪酸組成の違いについて



赤ペン 体細胞数編② 乳房炎の個体を特定

赤ペンによるコメントが開始されています！検定農家に届けられる毎月の検定成績表一枚一枚に赤や青字でコメントが記載され、農家個々に改善ポイントを知ることが出来るようになりました。当団の繁殖台帳Webシステムにより、パソコン等で利用出来ます。繁殖台帳Webシステムについて、各検定組合にお問い合わせください。別途の費用は不要です。

今回は、体細胞数の赤ペン2回目の紹介です。一頭一頭の個体情報になります。

<ポイント>

裏面に見本を示しました。先ず成績表上部青枠の「体細胞数(乳房炎)の状況」を見るようにしてください。この青枠の表は乳房炎の罹患を頭数で示したものです。乳房炎を改善するために最も大事なことは、新規に乳房炎の牛を出さないこと、次に乳房炎治療して回復させることです。体細胞数は乳質情報でもあるので、合乳したタンク内の体細胞数が取り上げられますが、そこを改善するためには個体毎の管理が必要になります。裏面の見本では、残念ながら新規に乳房炎を罹患した牛が3頭、回復した牛は0頭ということで改善は進んでいないことがわかります。

<見方>

成績表が縦線で分割され、下部にそれぞれのタイトルが次のように記されています。

- ・飼養管理アドバイス → 体細胞数改善のための一般的な飼養管理のポイント、また新規に乳房炎を罹患した牛も示しています
- ・個別ポイント → 乳房炎の牛、特に悪化していたり、重篤化しているものを強調
- ・改善傾向 → 体細胞数が減少している傾向の牛

未経産牛については、遺伝的に体細胞数が高くなりやすい牛がいればコメントが示されます。

乾乳牛については、乾乳期間中の治療を促したり、分娩後の初乳に不適切といったコメントが示されます。

